


高田松原津波復興祈念公園

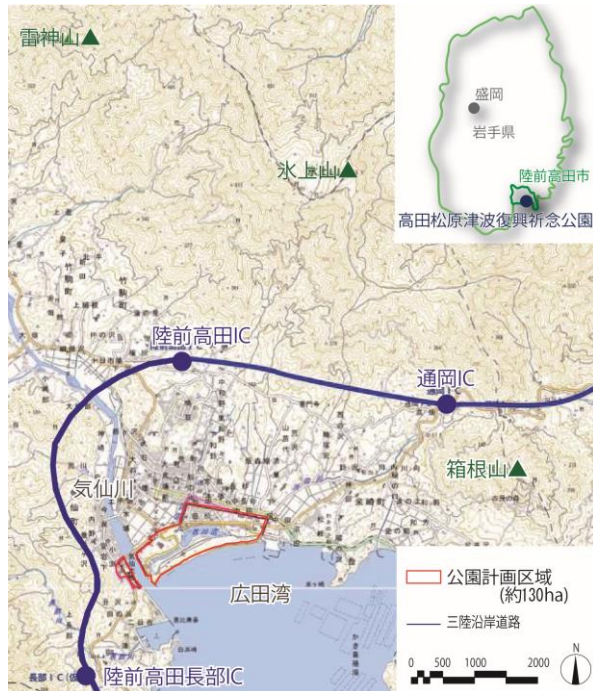


第37回 都市公園コンクール 設計部門 国土交通大臣賞

 株式会社プレック研究所 PREC Institute Inc.

奥山 伊作

“高田松原津波復興祈念公園”・“国営追悼・祈念施設”とは



高田松原津波復興祈念公園は、

東日本大震災が未曾有の大災害であったことを鑑み、国・岩手県・陸前高田市が連携し、復興の象徴として整備するもの

本公園は国が整備する国営追悼・祈念施設を中核に以下の点を目指したもの

- ・名称高田松原、古川沼の水辺等、郷土の自然風景の再生
- ・主要アクセスにおけるゲート性の確保
- ・かさ上げ市街地と連携した円滑な避難誘導
- ・復興のまちづくりと一体となった空間

このうち、国が整備する国営追悼・祈念施設は、

- ①犠牲者への追悼と鎮魂
- ②震災の記憶と教訓の伝承
- ③復興への強い意志の発信

の3つを目的とした、本公園の中核を成す施設

3.11 東日本大震災 被災直後の計画地の様子

被災前

2010.3

名勝高田松原
賑わう海水浴場

被災前（平成 22 年 3 月） 名勝高田松原、岩手を代表する海水浴場として賑わう



被災直後

2011.3

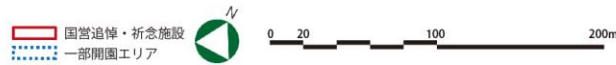
犠牲者数約2千人
県内最大の被災地
奇跡の一本松



被災直後（平成 23 年 3 月） 約 2 千人もの犠牲者が生じた県内最大の被災地となる



高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設



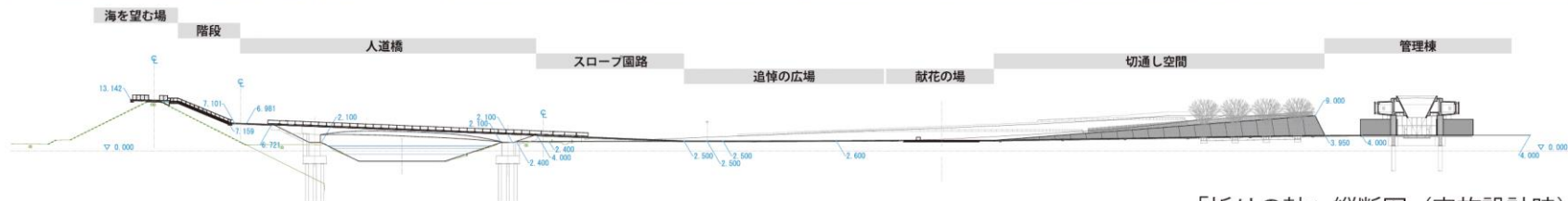
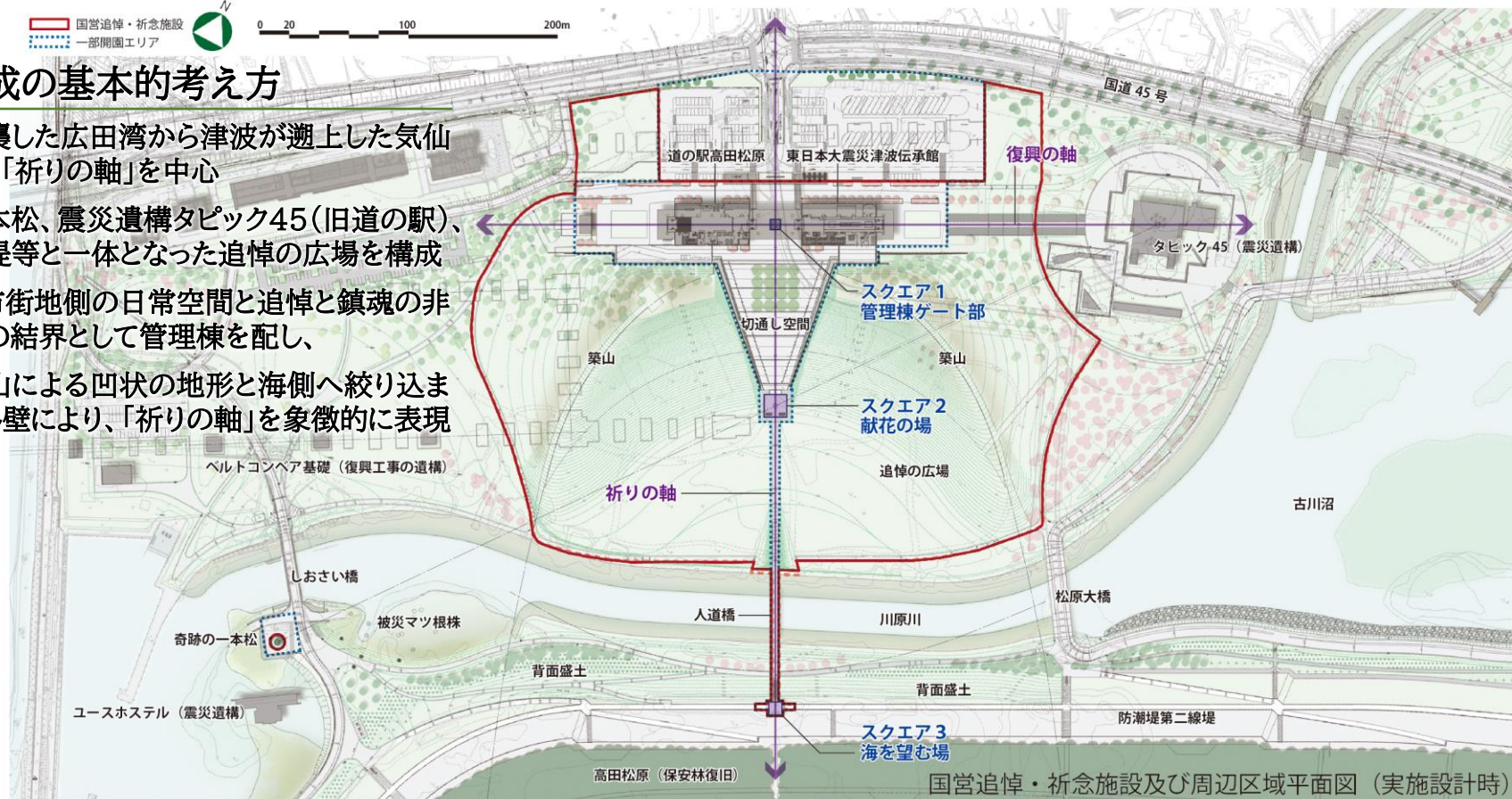
空間構成の基本的考え方

津波の来襲した広田湾から津波が遡上した気仙川へと至る「祈りの軸」を中心

奇跡の一本松、震災遺構タピック45（旧道の駅）、海岸防潮堤等と一体となった追悼の広場を構成

かさ上げ市街地側の日常空間と追悼と鎮魂の非日常空間の結界として管理棟を配し、

両翼の築山による凹状の地形と海側へ絞り込まれた切通し壁により、「祈りの軸」を象徴的に表現



「祈りの軸」縦断面図 (実施設計時)

高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設

象徴性を発揮する2つの主軸「祈りの軸」



「祈りの軸」は、

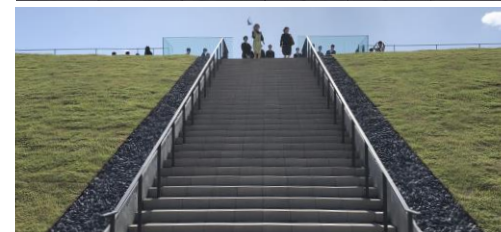
追悼式が執り行われる切通し空間から慰霊碑的モニュメントとして、

海に向かって徐々に立ち上がるコンケイブ状の縦断形を形成し、

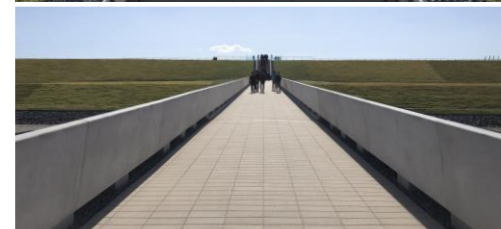
防潮堤で遮蔽された海の存在を示唆



海を望む場



階段



人道橋

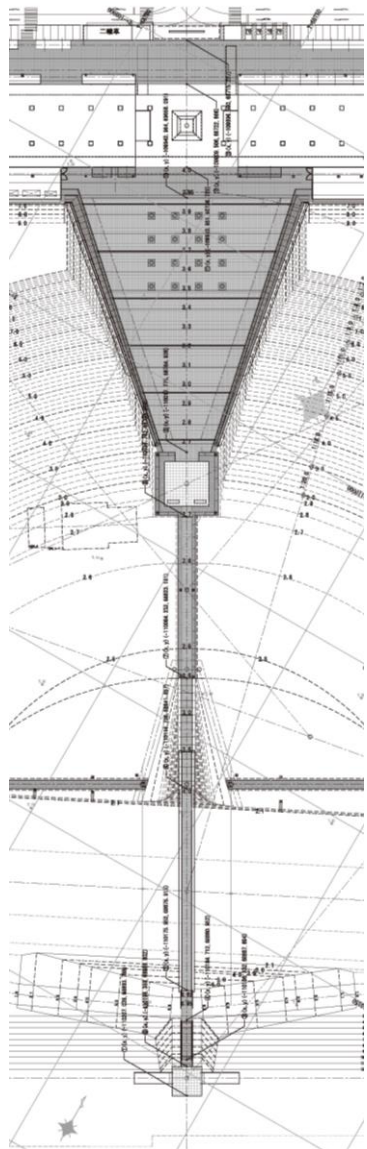


スロープ園路



献花の場

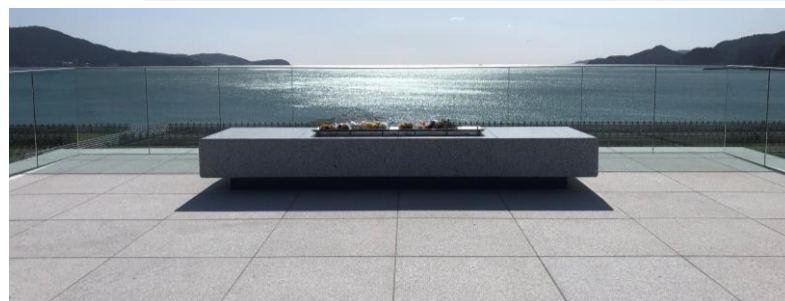
高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設



スクエア 1 管理棟ゲート部(鳥居・手水舎) 7×7



スクエア 2 献花の場(拝殿) 15×15



スクエア 3 海を望む場(奥宮) 10×10

「祈りの軸」では、

神社における“鳥居(とりい)・手水舎(ちようずや)”、“拝殿(はいでん)”、“奥宮(おくみや)”のように、非日常空間の中で徐々に追悼・鎮魂の憶いを深化させる3つのスクエアを配置しています。

管理棟ゲート部では、上部に開口がり、光で照らされる水盤。

献花の場では、水の縁取り。

神聖な場である海を望む場では、眼下に広がる海。

このように、水により3つのスクエアをつないでいます。

管理棟ゲート部(鳥居・手水舎)

「祈りの軸」と「復興の軸」が交わる大屋根部に開口を設け、自然光が水盤を照らす、未来に向け復興を感じる場を形成

献花の場(拝殿)

「祈りの軸」と奇跡の一本松・震災遺構タピック45を結ぶ線との交点に、海に向かって一筋の「祈りの軸」を見ながら花を手向ける場を形成

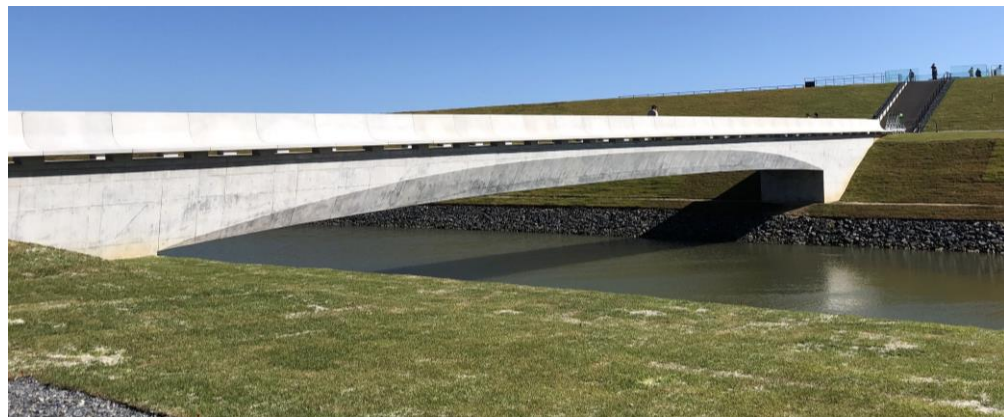
海を望む場(奥宮)

川原川を渡河して辿り着く「祈りの軸」上で唯一広田湾を一望できる、津波が押し寄せた海と厳粛な想いで対峙する場を形成

高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設



切通し壁



人道橋



献花台

高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設



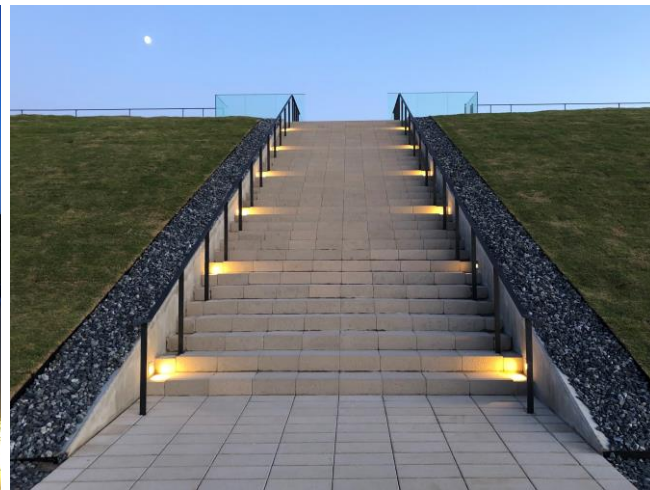
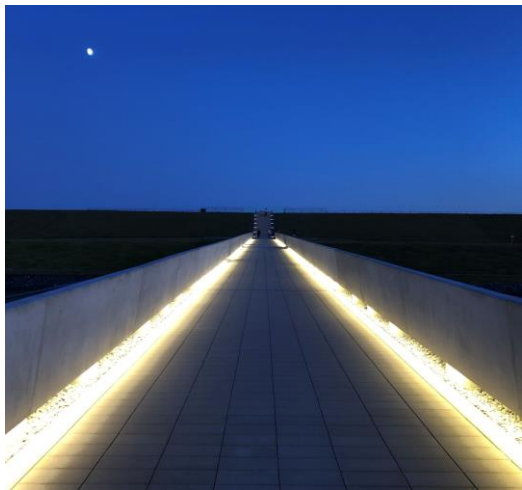
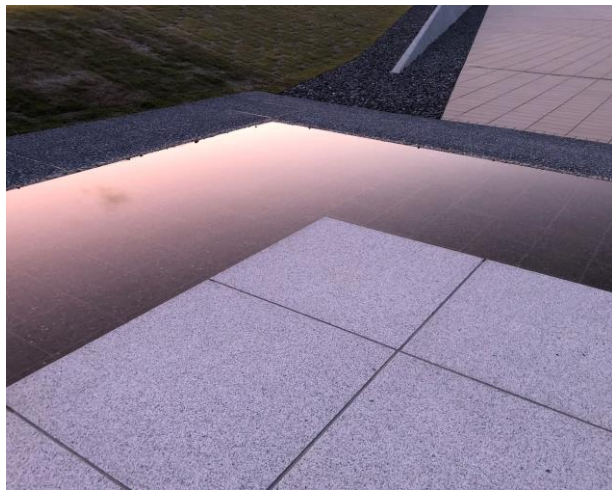
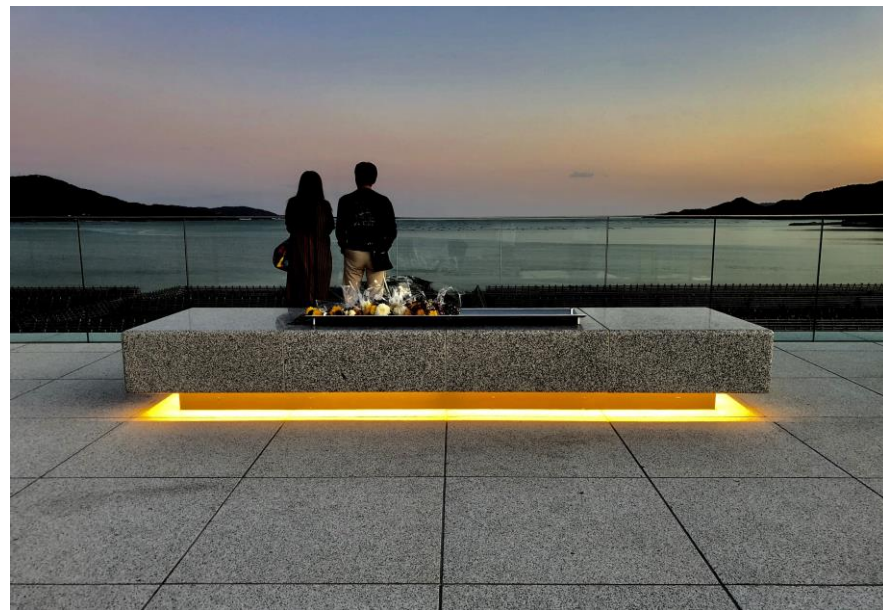
献花の場で手を合わせる来訪者



「祈りの軸」を中心としたシンメトリーな築山による凹凸地形

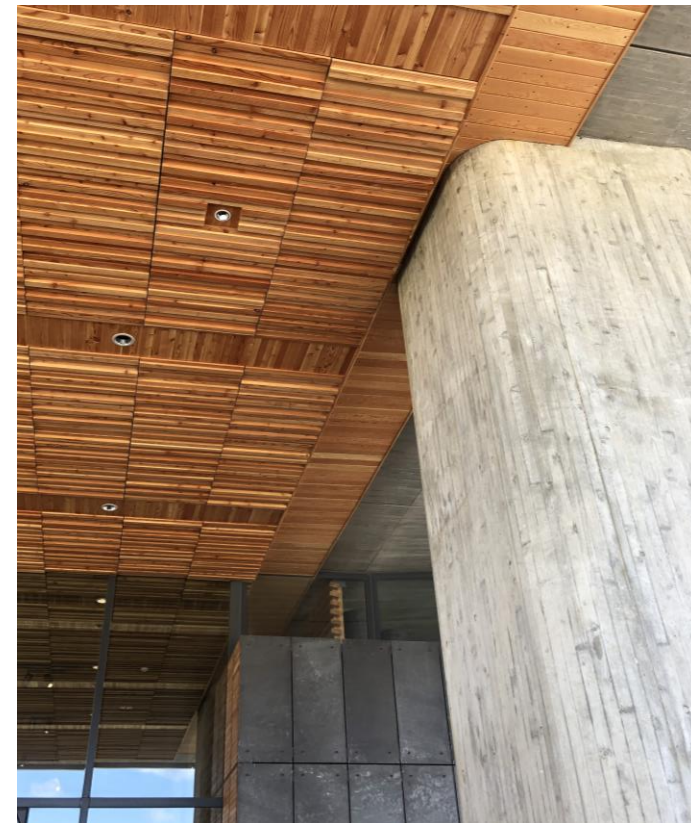
高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設

夕刻の「祈りの軸」



高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設

追悼・鎮魂の憶いを刻む大屋根のファサード

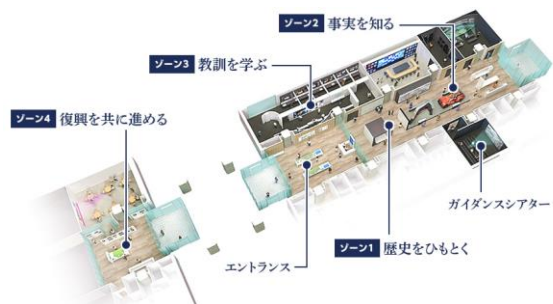


管理棟では、

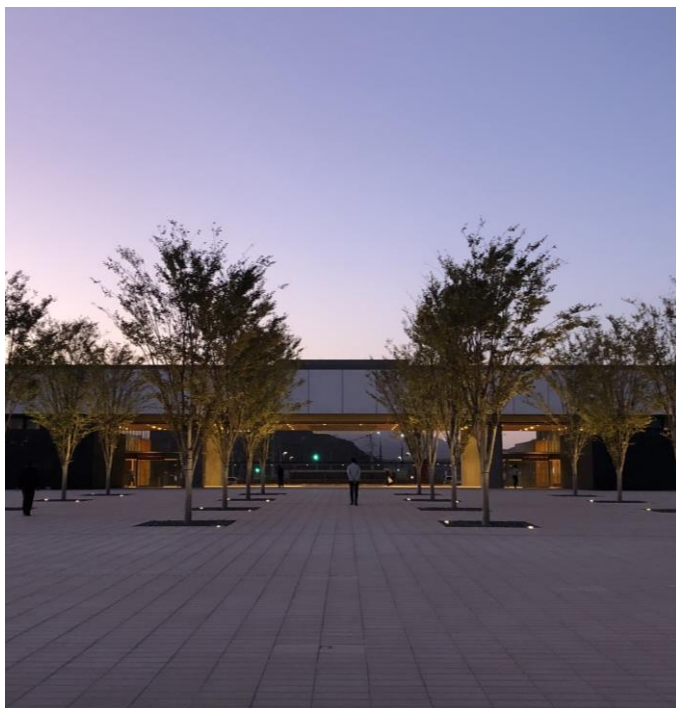
大屋根を梁とした大スパンのRC造とし、大屋根の、厚みのあるファサードにより、公園のゲート性を強調

震災の事実を風化させないために、このファサードには全国の犠牲者数分の孔を設け、後世にわたり市街地を淡く照らし続ける光の帯を表現

高田松原津波復興祈念公園の設計 ① 国営追悼・祈念施設



東日本大震災津波伝承館



ゲート部



道の駅高田松原



管理棟ファサード

高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

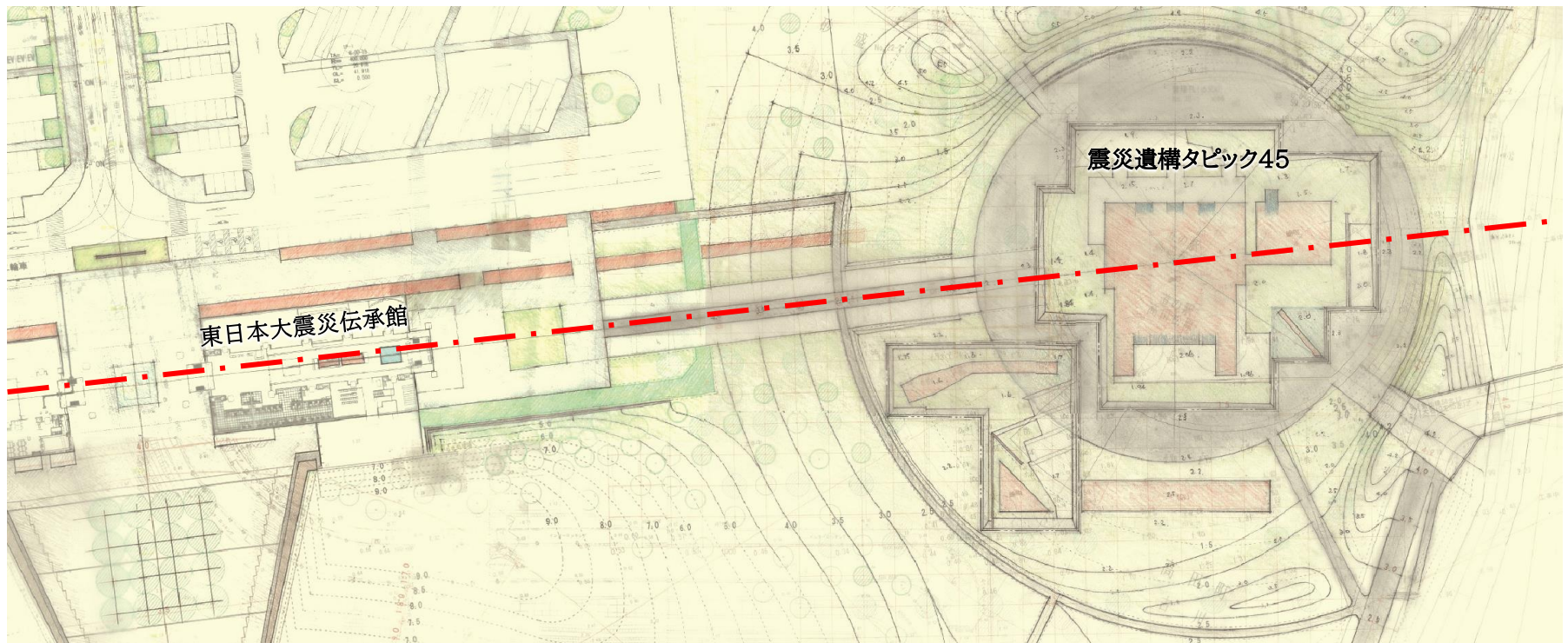
多様な関係者とのデザイン調整

「祈りの軸」を中心とした祈りの場とその周辺の県整備エリアは、海岸や河川、保安林等の災害復旧・復興事業と一体となった空間とするため、これら多数の関係者と密に連携・調整しながら検討



高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

「祈りの軸」の起点に位置する管理棟では、災害の脅威を伝える震災遺構タピック45、その教訓と伝承のための東日本大震災津波伝承館、明日を生きる暮らしと共にある道の駅高田松原からなる「復興の軸」をコンセプトに据え、「祈りの軸」と「復興の軸」の2つを主軸に、諸室配置等を行うとともに、屋内外が一体となったランドスケープを展開



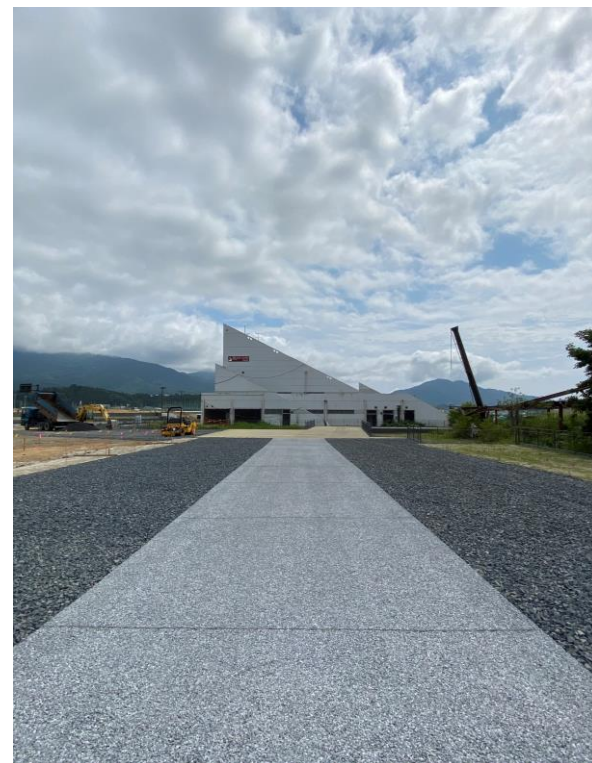
復興の軸・震災遺構タピック45周リスタディプラン

高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

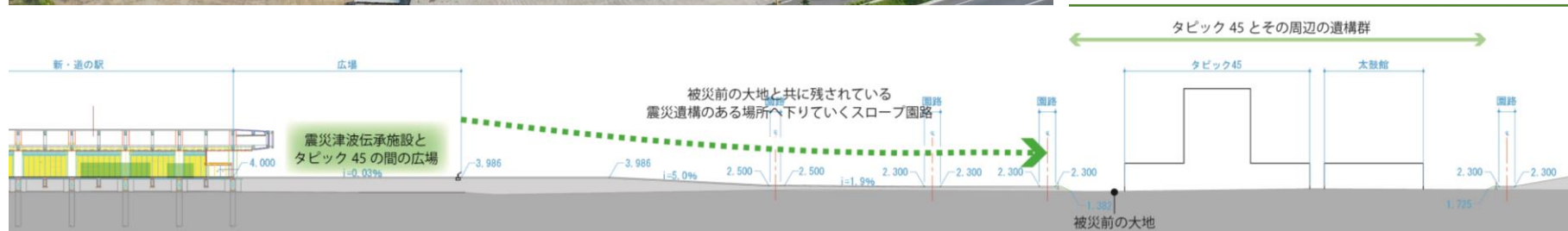
震災遺構タピック45に向かう「復興の軸」上に園路を配置し、被災した地へ降りていく印象を与える縦断勾配

震災遺構と見学者のエリアを仕切る境界は、震災遺構や被災した地を切り取ったXY方向のエッジの効いた形態

震災遺構を柔らかく遮蔽する市街地側のマウンドは、震災遺構を見ることで被災当時を思い出したくないという市民感情への配慮



伝承館側から望む



「復興の軸」縦断面図

高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

「祈りの軸」のコンケイブ状の地形をつくる背面盛土は、
 国・県・海岸管理者と連携し、海岸堤防に盛土を行い、やわらかい地形を形成
 法面は試験植栽を実施した上で、在来種の海浜植物により修景

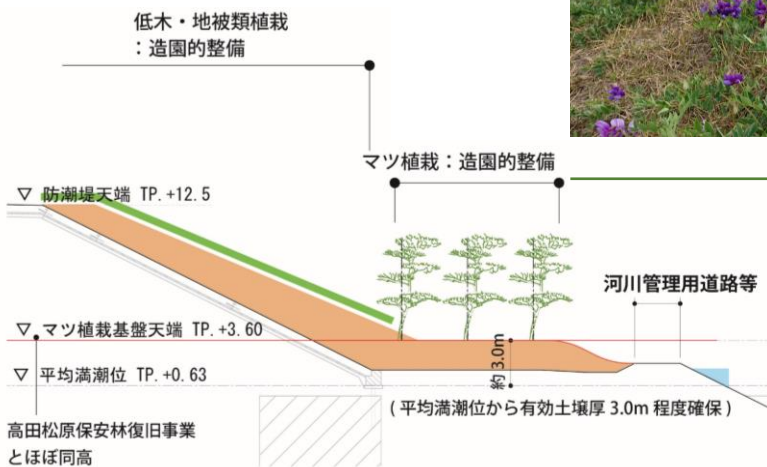


海岸堤防への背面盛土



写真：岩手県提供

覆土および海浜植物による修景



国営追悼・祈念施設周辺の背面盛土 造成断面図



背面盛土へのマツの植栽



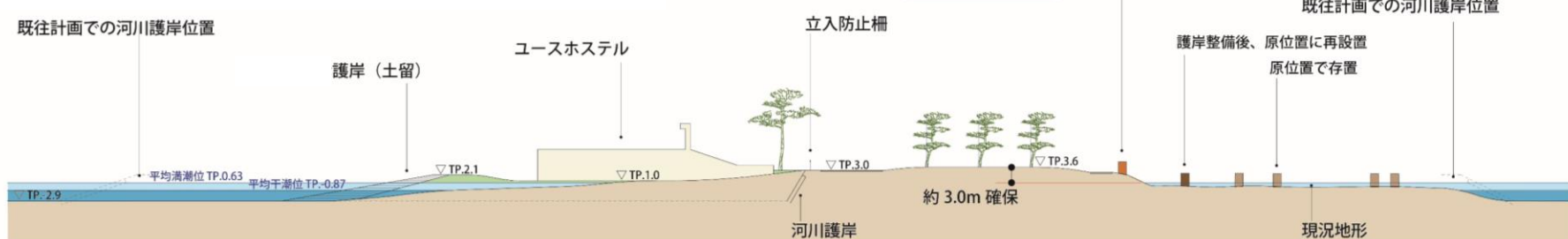
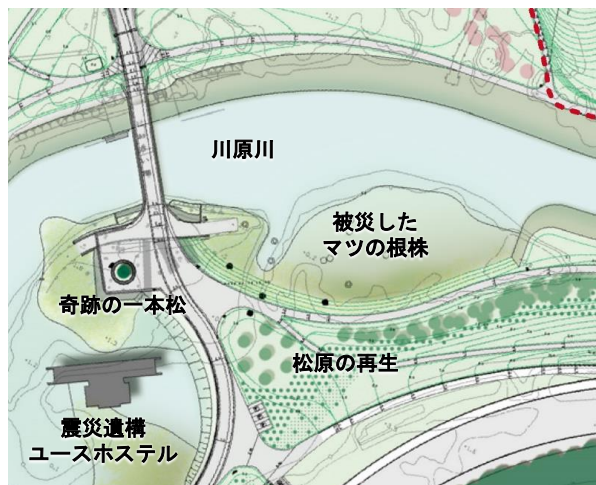
写真：岩手県提供

防潮堤への覆土

高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

津波の脅威を伝えるマツの根株と奇跡の一本松の対比

河川管理者と協議・調整を行い、河川護岸の位置を変更し、津波の恐ろしさを伝える物証として被災したマツの根株を残した



奇跡の一本松と被災したマツの根株

高田松原津波復興祈念公園の設計 ② 県整備エリア

公園内の震災遺構・復興遺構



奇跡の一本松



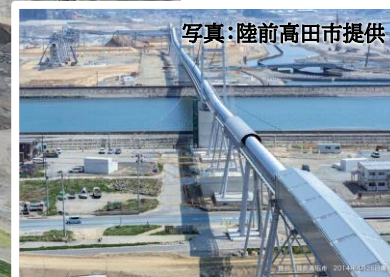
震災遺構陸前高田ユースホテル



震災遺構タピック45



復興遺構「希望の架け橋」とベルトコンベアの基礎



写真：陸前高田市提供



震災遺構気仙中学校/語り部の話に耳を傾ける来訪者

高田松原津波復興祈念公園の設計 ③ 検討体制

H28

高田松原津波復興祈念公園有識者委員会

公開

- 【事務局】 県都市計画課
- 【委員長】 東京工大 中井教授
- 【副委員長】 東京都市大 涌井教授
- 【委員】 工学院大 篠沢教授、岩手大 広田教授、岩手大 南教授、戸羽陸前高田市長

空間デザイン検討委員会

非公開

- 【事務局】 東北国営公園事務所
- 【委員長】 工学院大 篠沢教授
- 【副委員長】 東北大 平野准教授

コア委員の合流

協働体制検討WG

非公開

- 【事務局】 県都市計画課、大船渡土木センター
- 【幹事】 岩手大 広田教授
- 【副幹事】 岩手大 五味教授

コア委員の合流

震災津波伝承施設検討委員会

公開

- 【事務局】 復興局まちづくり再生課
- 【委員長】 岩手大 南教授
- 【副委員長】 東北大 柴山准教授

コア委員の合流

H29

景観検討調整会【国検討業務】

非公開

- 【事務局】 東北国営公園事務所
- 【有識者】 工学院大 篠沢教授、東北大 平野准教授、東京大 内藤名誉教授

グループ代表者会議

非公開

- 【事務局】 県都市計画課、大船渡土木センター、陸前高田市
- 【アドバイザー】 岩手大 広田名誉教授

震災津波伝承館運営協議会

公開

- 【事務局】 復興局まちづくり再生課
- 【委員長】 岩手大 南教授
- 【副委員長】 東北大 柴山准教授

H30以降

高田松原津波復興祈念公園有識者懇談会

公開

- 【座長】 東京工大 中井教授
- 【座長代理】 東京都市大 涌井教授

- 【委員】 工学院大 篠沢教授、岩手大 広田教授、岩手大 南教授、戸羽陸前高田市長、東北大 平野准教授、岩手大 五味教授、東北大 柴山准教授